

大雨が引き起こす災害

水害発生メカニズム

内水氾濫とは

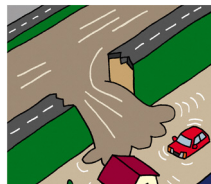


街に降った雨は、下水道管や水路、道路側溝などに流れて河川に排水されます。

内水氾濫とは、下水道管や水路、道路側溝などの排水能力を超えた時や、河川などの排水先の水位が高くなった時に雨水を排水できなくなり、浸水することです。



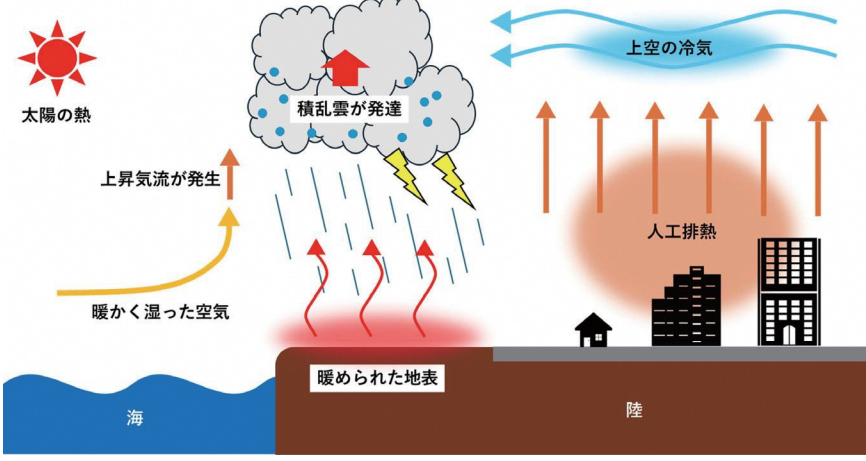
洪水（外水氾濫）とは



大雨により河川等の水位が上昇し、堤防を越えて水が溢れたり、堤防の土砂が流出して決壊します。これが洪水（外水氾濫）です。

ゲリラ豪雨

ゲリラ豪雨とは、狭い範囲に短時間で非常に激しい雨が降る現象のことを指し、積乱雲が発達することによって起こります。警報が出ていなくても突然起こることがあり、短時間に降った雨が低い場所に集まって、浸水などの被害をもたらすことがあります。



予想される危険箇所

低地など

雨水を排水しきれなくなると、低い道路や窪地に雨水がたまり、冠水するおそれがあります。



水路周辺

水路にはガードレールの橋がない場合があります。浸水時には、水路の場所が判らず落下する危険があります。



水害発生時における避難の心得

避難時の注意点

①非常時持出品の準備

・非常時持出品をリュックサックなどに入れ、すぐに持ち出せるように準備しておきましょう。

②避難経路・避難方法の確認

・避難経路をあらかじめ決めておき、安全に通行できるか確認しておきましょう。
・自家用車での避難は、交通渋滞や緊急自動車の通行の妨げになる場合があります。
また、浸水すると動けなくなりますので注意しましょう。



③安全で動きやすい服装を

・動きやすい服装で避難しましょう。
・サンダルや長靴ではなく、脱げにくい運動靴を履きましょう。
※長靴は、中に入ると重くなって動きにくくなります。



④隣近所で声を掛け合って避難

・単独行動はせず、なるべく家族や隣近所とともに集団で避難しましょう。



⑤足元に注意

・浸水で足元が見えにくい場合は、側溝やマンホールなどに転落する恐れがあり危険です。枝や長い棒で確認しながら歩きましょう。
・水深が50cm程度であると大人でも歩くことが困難です。流れのある場所では、さらに注意が必要です。



土砂ハザード情報について

土砂災害警戒情報が発表されていなくても、ふだんと異なる状況「土砂災害の前兆」に気づいた場合には、〈町総務課 電話4 8－2 1 1 1(代)へ連絡するとともに、直ちに周りの人と安全な場所へ避難してください。日ごろから危険箇所・避難場所、避難経路を確認しておくことも重要です。〉

土砂災害の種類

がけ崩れ

地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちることをいいます。がけ崩れは突然起きるため、人家の近くで起きると逃げ遅れる人も多く、被害者の割合も高くなっています。



土石流

山腹・川底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流されることをいいます。その流れの速さは規模によって異なりますが、時速20～40kmという速度で一瞬のうちに人家や畑などを壊滅させてしまいます。



地すべり

斜面の一部あるいは全部が、地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象のことをいいます。一般的に移動土塊量が大きいため、甚大な被害を及ぼします。また一旦動き出すと、これらを完全に停止させることは非常に困難です。



危険箇所内の重要性の高い箇所について

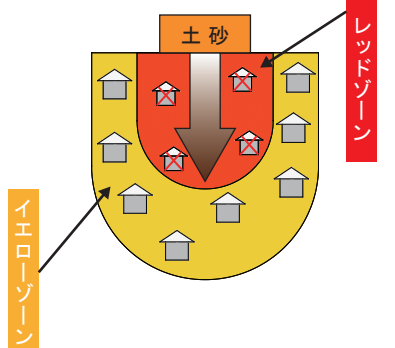
土砂災害防止法に基づき、青森県が計画的に基礎調査を実施し、危険箇所内の重要性の高い箇所について、「土砂災害特別警戒区域」と「土砂災害警戒区域」の指定が行われています。

土砂災害 特別警戒区域(レッドゾーン)

建築物に破損が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域

土砂災害 警戒区域(イエローゾーン)

土砂災害のおそれがある区域



気象の情報

5段階レベルを用いた防災情報

町から発令される避難情報と、国や県が出す防災気象情報には、以下のものがあります。

警戒レベル	避難情報	気象等情報	とるべき行動
警戒レベル5相当	緊急安全確保	レベル5 氾濫特別警報 大雨特別警報 土砂災害特別警報	既に災害が発生している状況です。 命を守る最善の行動をとりましょう。
警戒レベル4相当	避難指示	レベル4 氾濫危険警報 大雨危険警報 土砂災害危険警報	速やかに避難場所へ避難しましょう。 避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や自宅内のより安全な場所に避難しましょう。
警戒レベル3相当	高齢者等避難	レベル3 氾濫警報 大雨警報 土砂災害警報	いつでも避難できるように、準備をしましょう。 お年寄りや子供、身体の不自由な人は、避難を始めましょう。
警戒レベル2	気象庁発表	レベル2 氾濫注意報 大雨注意報 土砂災害注意報	避難に備え、ハザードマップ等で、自ら避難行動を確認しましょう。
警戒レベル1	気象庁発表	早期注意報	災害への心構えを高め、最新情報に注意しましょう。
※警戒レベルは必ずしもこの順番で発令されるとは限りません。 状況が急変する場合もあります。			

大鰐町からの情報伝達と情報の入手先

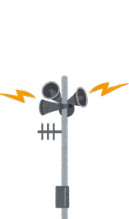
大鰐町では、町内の災害情報などについて、多様な手段で皆さんにお知らせいたします。また、国・県・報道機関からの情報も確認をして事前準備等に活かしましょう。

大鰐町から発信する避難情報



大鰐町ホームページ

ホームページにて町内の防災・災害情報を更新しています。



防災無線

災害発生が予想される場合や火災情報は、屋外スピーカーにより、避難情報などを一斉に放送します。聞き取れないときは、窓を開けて聞か、屋外に出て聞き取る行動をしてください。
☎電話応答サービス
放送内容が聞き取れなかったり、放送内容をもう一度確認したいときは、24時間以内に放送した内容を、次の番号で確認できます。
TEL: 48-3539



大鰐町防災あじやメール

大鰐町では、町民の皆さんに対し、防災情報ははじめ、町のイベントや農業等の様々な情報をメール配信しています。次の登録用アドレスにアクセスし、空メールを送信すると、登録用のメールが返信されてきます。画面の指示に従い必要事項を入力すると、登録することができます。
<https://bosai.town.owani.lg.jp/mail/send.php>

国・県・報道機関からの情報



気象庁（青森地方気象台）

天気予報、気象注意報・警報や防災気象情報を配信しています。



あおもり防災ポータル

青森県内の気象、台風、地震・津波、火山などの災害情報及び避難情報を配信しています。



国土交通省 川の防災情報

雨量・河川水位、河川GCTVカメラから河川状況を確認できます。



テレビ（地上デジタル放送）dボタン

テレビで様々な情報を確認できます。



エリアメール・緊急速報メール

通信会社の携帯電話をご利用の方が、大鰐町内にいるときに町などが発信する限定的な情報を強制的にメール通知します。
【限定情報の内容】
●全国瞬時警報システム(Jアラート)の一部や「避難準備情報」等の避難行動を呼びかける広報のみ限定



ラジオ

AMラジオ

- ・NHK第1 846kHz(弘前)
- ・NHK第2 1467kHz(弘前)

FMラジオ

- ・NHK-FM 86.0MHz
- ・エフエム青森 80.0MHz
- ・青森放送(ワイドFM) 91.7MHz
- ・FMアップルウェーブ 78.8MHz



気象警報に関する事項

風水害対策について

大雨や強風は私たちに何度も大きな災害をもたらしています。普段から気象情報に十分注意し、避難の際もみんなで協力しましょう。

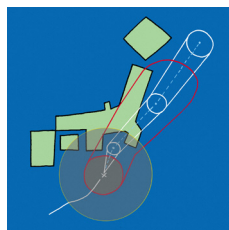
雨の降り方と周囲の状況

気象庁では、気象予報の用語を統一しています。雨の強さの程度を知っておき、避難行動に役立てましょう。

やや強い雨 1時間に10～20mm	強い雨 1時間に20～30mm	激しい雨 1時間に30～50mm	非常に激しい雨 1時間に50～80mm	猛烈な雨 1時間に80mm～
ザーザーと降る。地面からの跳ね返りで足元が濡れる。	どしゃ降り。傘をさしていても濡れる。	バケツをひっくり返したように降る。傘をさしていても濡れる。	滝のように降る。傘は全く役に立たなくなる。	息苦しくなるような圧迫感がある。傘は全く役に立たなくなる。

台風

日本には毎年多数の台風が接近あるいは上陸し、たびたび大きな被害をもたらします。台風の接近が予想される際は、台風情報に十分注意し、被害のないように備えることが必要です。



階級	風速15m/s以上の半径
大型（大きい）	500km以上800km未満
超大型（非常に大きい）	800km以上

階級	最大風速
強い	33m/s(64ノット)以上～44m/s(85ノット)未満
非常に強い	44m/s(85ノット)以上～54m/s(105ノット)未満
猛烈な	54m/s(105ノット)以上

風の強さと周囲の状況

やや強い風 10m/秒以上15m/秒未満	強い風 15m/秒以上20m/秒未満	非常に強い風 20m/秒以上30m/秒未満	猛烈な風 30m/秒以上
風に向かって歩きにくくなる。傘が差せない。	風に向かって歩けない。転倒する人もいる。	何かにつかまっていけないと立てない。飛来物で負傷する恐れあり。	屋外での行動は極めて危険。

気象庁提供

水害に備えた心構え

非常時持出品の準備＆チェック

いざというときすぐ持ち出せるように、日ごろから準備・点検しておきましょう

非常時持出品(例)

携帯ラジオ



- ☐ ラジオ
- ☐ 電池(多めに用意)

救急医療品



- ☐ 持病薬
- ☐ 傷薬
- ☐ 風邪薬
- ☐ 鎮痛剤
- ☐ 絆創膏
- ☐ 包帯
- ☐ 胃腸薬
- ☐ お薬手帳

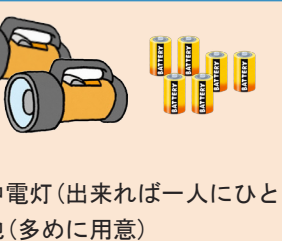
貴重品



- ☐ 現金
- ☐ 印鑑
- ☐ マイナンバーカード
- ☐ 健康保険資格確認書
- ☐ 預金通帳
- ☐ 免許証
- ☐ 権利証書



懐中電灯



- ☐ 懐中電灯(出来れば一人にひとつ)
- ☐ 電池(多めに用意)

非常食品



火を通さずに食べられるもの、食器など

- ☐ カンパン
- ☐ 非常用食品
- ☐ 缶切り
- ☐ 紙皿
- ☐ 水筒
- ☐ 缶詰
- ☐ ミネラルウォーター
- ☐ 乾菜類
- ☐ 乾果類
- ☐ 乾肉類
- ☐ 乾果類
- ☐ 乾菜類

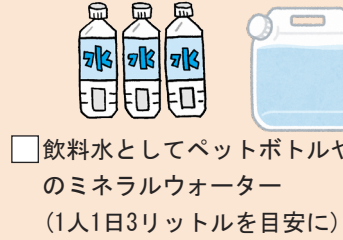
その他



- ☐ 衣類(下着・上着等)
- ☐ 女性用品
- ☐ 離乳食
- ☐ ウェットティッシュ
- ☐ ヘルメット
- ☐ ラップフィルム
- ☐ (止血や食器にかがせる)
- ☐ 防寒具(時季による)
- ☐ タオル
- ☐ 粉ミルク
- ☐ 紙おむつ
- ☐ 雨具
- ☐ ライター
- ☐ ハザードマップ(本署)
- ☐ スリッパ

非常時用備蓄品(例)

飲料水



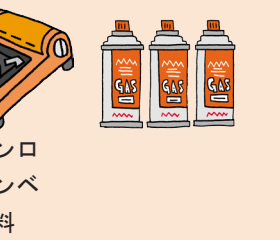
- ☐ 飲料水としてペットボトルや缶入り
- ☐ のミネラルウォーター
- ☐ (1人1日3リットルを目安に)
- ☐ 貯水したポリタンクなど

非常食品



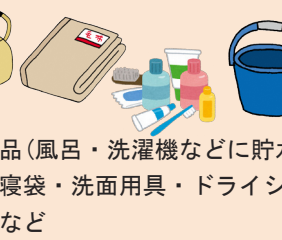
- ☐ お米(アルファ米も便利)
- ☐ 缶詰・レトルト食品
- ☐ 梅干し・調味料など
- ☐ ドライフーズ・チョコレート・アメ(菓子類など)

燃料



- ☐ 卓上コンロ
- ☐ ガスボンベ
- ☐ 固形燃料

その他



- ☐ 生活用品(風呂・洗濯機などに貯水)
- ☐ 毛布・寝袋・洗面用具・ドライシャ
- ☐ ンプーなど
- ☐ 調理器具(なべ・やかんなど)
- ☐ バケツ・各種アウトドア用品など

感染症対策で非常時持出品に加えたいもの

- ① マスク
- ② アルコール消毒液
- ③ ハンドソープ・固形石けん(※家族または自分用を持参し、避難所では共用しないこと)
- ④ 使い捨てのビニール手袋(ドアノブ等、多くの人が触れるものからの接触感染を防ぐため)
- ⑤ 使い捨てのビニールエプロンまたはゴミ袋(避難所運営に協力する際に使用)
- ⑥ 体温計(町で用意できない可能性もあるため、使い慣れたものを持参すること)
- ⑦ ティッシュ、ウェットティッシュ、ペーパータオル、ポリ袋(可能な限り多めに準備)
- ⑧ 携帯トイレ(トイレは我慢しないこと。避難所のトイレが使えない場合に備える)

